

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

今後は「思慮深い資本主義」に注目 **フィリップ・コトラー(米ノースウェスタン大学経営大学院名誉教授)**

1. 現在の資本主義に代案はあるのか。私が注目したのが、「思慮深い資本主義」という米国の一部起業家の啓蒙活動である。要は、「人々が幸せで豊かに暮らすことこそが企業活動の目的であるべきだ」と言っている。逆に「思慮深くない企業活動」はどういうものかといえば、例えば鉱山で採掘活動をして、現地をただ荒らすような行為を指す。思慮深い資本主義の下では、そうした企業は存在すらできなくなる。
2. 私は、毎年(特定の日をもうけて)、例えば海洋汚染に目を向けようと人々に訴えかける活動は、もはや時代遅れだと思っている。もはや我々は、四六時中あらゆる意思決定において、環境を最大限に考慮する段階に入っているのではないか。ちょっと極端かもしれないが、企業活動においても、ほとんどの意思決定で環境への配慮を最優先すべきだと考えている。企業は何をするときも、「これは人々を傷つけるか?あるいは助けるか?」と自問し続けるべきだ。私が考える、企業のあるべき姿だ。
3. 地球が傷ついているので、消費者は買い物は減らすべきだという論調がある。それよりもまず考えるべきは、企業の悪しき行動だ。企業が土壌や水、空気を汚染すれば、直ちに社会に重い代償を強いる。変わるべきは企業だ。  
(参考:「日経ビジネス」2020年12月14日号)

## 幹部への活きた言葉

**繁栄への具体案 (素直な心の培養・松下幸之助)**

1. 素直な心を培養して、常に素直な心でものを見、ものを判断することが大切である。素直な心の培養ということを知っていないと、そこに日本の貧困の姿が招来されるのではないかと思います。なぜなら、学問、がしきょう 芸があれはるほど、独善的となり、我執と偏見をもつことになる。そしてものの実相をつかめないというようになるのではないかと思うからです。
2. 素直な心をもつと天地自然の理法というものもわかっかなてきて、その人の動くところすべて理に適った動き方をするようになると思います。学問にとらわれず、知識にとらわれず、権力にとらわれず、地位を利用するような動きもしなくなる。すべて自然の理のままに、正しい行いがだんだん高まっていくということになると思います。そこから生まれる方策、方式というものが、繁栄への具体案であります。  
(参考:「PHP」:2021年2月号)

## ワンポイント経営アドバイス

**経営はサイエンス**

**小林 喜光(三菱ケミカルホールディングス取締役会長)**

1. 今の時代にはデジタルの「0.1」の世界が広がっている。それが必ずしも正しいことだとは思わなけれど、ならば経営も「YES or NO」で判断していかないといけない。これまで企業は、勘と度胸と愛嬌で経営していた。でも今の経営はサイエンスなんです。
2. かつては量を追求していたから、金太郎あめみたいにみんなでベクトルを考えることが集団の強みにつながった。でも今、追求しているのは質。重要なのは0から1を生むクリエイティビティやイノベーション創出力です。つまり個人がしっかりして初めて組織としての強みが出ます。三菱グループに就職する人たちはとりわけ安全志向が強くて「和をもって尊しとなす」を重んじる。だけど、そればかりやっていると沈滞していく。聖徳太子の時代は終わったのです。  
(参考:「週刊ダイヤモンド」2020年12月26日・2021年1月2日号)

## 古典に学ぶ

**経世家として世に立つ (孔子)**

(解説) 換言すれば、(孔子は) 初めは一の経世家であった。その経世家として世に立つ間に、門人から種々雑多のことを問われ、それについて一々答えを与えた。門人といまつりごとっても各種の方向に関係を持った人の集合であるから、その質問もおのずから多様多岐に亘り、政を問われ、忠孝を問われ、文学、礼学を問われた。この問答を集めたものがやがて論語20篇となったのである。

(参考: 渋沢栄一「論語と列子」: 国書刊行会)